

電子リソースの学外からの利用（リモートアクセス）について

更新日：2024.4.16

本学で契約する一部の電子ジャーナル等の電子リソースは、各自でアカウントを登録することで、学外からでも利用（リモートアクセス）することができます。

- ◇ リモートアクセスの利用対象者は京都薬科大学構成員（職員・大学院生・学生等）に限ります。
- ◇ ユーザー登録等を行う際は、大学より付与されたメールアドレスをご利用ください。
フリーメール等を使用されている場合（在籍が確認できない場合）は、管理者によりアカウントを削除されることがあります。
- ◇ 電子ジャーナル等のご利用にあたっては、「[正しい利用のために](#)」を必ずご一読ください。
- ◇ リモートアクセスで利用できる電子ジャーナルは、本学契約タイトルのみです。
- ◇ 契約電子ジャーナルは「[電子ジャーナル・電子ブックリスト](#)」でご確認ください。

電子ジャーナル | Journal

Science Direct（Elsevier）

【設定方法】

[ScienceDirect - e-mail アドレスのドメイン名によるリモートアクセス](#)をご確認ください。

※Elsevierの電子ジャーナルScience Direct(契約タイトルのみ／電子ブックも含む)とデータベース・Scopusを学外から利用できます。

【注意事項】

- ・ **リモートアクセス設定**および**ユーザー登録**が必要です。※学外からでも設定できます。
- ・ 大学から付与されたメールアドレス（...@xx.kyoto-phu.ac.jp）を所有していることが利用条件となります（ドメインによる認証が行われます）。
- ・ リモートアクセス権限を取得すると、6カ月有効です。再度利用するには、同じ手順で手続きしてください。
- ・ Science DirectとScopusで利用するID／パスワードは共通です。

Wiley

【設定方法】 詳しくは[こちら](#)をご参照ください

- ① 学内ネットワークに接続された端末から<https://onlinelibrary.wiley.com/>にアクセスし、トップページ右上の**Log in/Register**をクリック
- ② 左下に表示される**New User** をクリック
- ③ **Register** 画面で必要事項を入力し、右下に表示されるRegisterをクリック
※ 大学から付与されたメールアドレス（...@xx.kyoto-phu.ac.jp）で登録してください。

■登録完了後は、学外より<https://onlinelibrary.wiley.com/>にアクセス⇒Log in/Registerより登録したメールアドレスとパスワードでログインすれば、契約コンテンツを利用できます。

【注意事項】

- ・ リモートアクセスは60日で失効します。再度利用するには、ご所属機関のネットワーク内から改めてログインして下さい。

【設定方法】

リモートアクセスをご希望の方は、大学から付与されたメールアドレス (...@xx.kyoto-phu.ac.jp) で図書館 (tosho@mb.Kyoto-phu.ac.jp) までご連絡ください。
確認後、図書館より、ユーザー登録について、メールでご案内いたします。

■登録完了後は、学外より<https://link.springer.com>にアクセス⇒Log inより登録したメールアドレスとパスワードでログインすれば、契約コンテンツを利用できます。

データベース | Database

Scopus (Elsevier)

【設定方法】

[Scopus e-mail アドレスのドメイン名によるリモートアクセス](#)をご確認ください。

【注意事項】

- ・リモートアクセス設定およびユーザー登録が必要です。※学外からでも設定できます。
- ・大学から付与されたメールアドレス (...@xx.kyoto-phu.ac.jp) を所有していることが利用条件となります (ドメインによる認証が行われます)。
- ・リモートアクセス権限を取得すると、6カ月有効です。再度利用するには、同じ手順で手続きしてください。
- ・Science DirectとScopusで利用するID/パスワードは共通です。

電子ブック | e-Book

Maruzen eBook Library

【設定方法】

リファラ認証により、[図書館ホームページ](#)⇒トップページ右上の『マイライブラリ』にログイン (SSO: シングルサインオン) するだけで、学外から電子ブックがご利用いただけます。
また、従来通り、[maruzen ebook Libraryリモートアクセスのご案内](#)による利用も可能です。